



第
2530
地区

福島西ロータリークラブ会報

会長 相澤 隆
幹事 佐藤 卓立

クラブ奉仕委員会
委員長 黒澤 信之
会報・雑誌・広報・
IT 小委員会委員長 大平 謹一郎

令和2年1月20日(月) 第21回 通算第1555回例会

・例会日/月曜日12:30 ・例会場/ウェディング エルティ ☎(024)535-6188

事務所/福島市万世町2-5 福島銀行本店9F ☎(024)536-1010・FAX(024)536-1011 Eメール/f-rotary@guitar.ocn.ne.jp

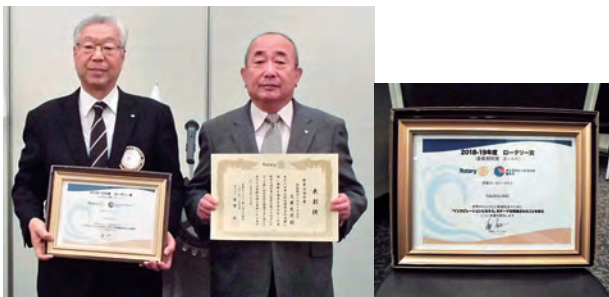
第21回例会 点鐘12:30

- ◇開会点鐘 相澤 隆会長
- ◇国家斉唱、ロータリーソング「我らの生業」
ソングリーダー 高橋 智弘 会員
- ◇「四つのテスト」唱和
職業奉仕委員会 渡辺 敬藏 委員長
- 1月誕生祝い



- ・野尻 榮一 会員 昭和19年1月10日生
- ・大平 謹一郎 会員 昭和20年1月20日生
- ・佐藤 卓立 会員 昭和42年1月19日生

- ◇地区大会表彰伝達
2018-19年度ロータリー賞(会長特別賞:ゴールド)
新米山功労者 久米 允彦 会員



- ◇入会式 梅津 一 匡様(福島市議会議員)



- ◇優良従業員表彰
大平 謹一郎 会員 事業所 大平内科クリニック 安達典子様

◇会長あいさつ 相澤 隆 会長

職業奉仕月間にちなんで優良従業員表彰を受けられました安達典子様、誠におめでとうございます。職場のリーダーとして活躍中とのことで、今後も職員の皆さんの模範として頑張っていただきたいと思ひます。

さて、1月は国際ロータリーの「職業奉仕月間」となっております。後ほど渡辺敬藏職業奉仕委員長にスピーチをしていただきますが、「職業奉仕はロータリーの金看板」と言われております。職業奉仕がロータリーの中核をなす理念であること、そしてロータリアンはこれを誇りに思っていることは間違いのないと思ひます。

1905年にポール・ハリスが、シカゴでロータリークラブを設立したわけですが、翌年に定められた定款は「会員同士の職務上の相互扶助」と「親睦」の2カ条しかなく、ロータリーはいわゆる互惠団体でありました。その後、ドナルド・カーターの入会時に「地域社会への貢献」という条項が追加され、ロータリーエゴイズムから脱却して、「奉仕」を目指すという考えが芽生えました。

さらに、1908年に入会したアーサー・フレデリック・シェルドンが奉仕論を提唱しました。このシェルドンという人物は「ロータリーの哲人」と呼ばれているようで、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という名言を残したことで知られており、彼は、これまでの「互惠取引」という考えから、「取引を行う相手のためになることをする」という「職業奉仕」の理念を提唱しました。

その後、エドガー・アレンのように「クラブとしての金銭的奉仕や、身体的奉仕の実践をも、積極的にするべきである」という実践派と、シェルドンの「ロータリー創立の理念を守るべき」という理念派の対立が深まり、ロータリーが分裂の危機に瀕することになります。

そして皆さんご承知のように、1923年にセントルイスで開催された国際大会で、34号議案として提案されたいわゆる「決議23-34」を採択することで、論争の終止符が打たれ、両派の対立は解消したとされています。この「決議23-34」は、ロータリーにとって奉仕の理念を確定した唯一のドキュメントとされています。

ただ、この解釈をめぐっては「人はどう生きるべきか」というような、多分に哲学的な世界で、私の苦手とする分野となってまいりますので、後は渡辺委員長のスピーチにお任せして、私もしっかりと勉強させていただきます。

◇幹事報告 佐藤 卓立 会員

○例会変更のお知らせ

- ・当クラブ次週27日の例会は18時30分よりエルティにて創立記念夜間例会となります。
- ・福島北RC21日(火)の例会は18時よりサンパレスにてクラブ新年例会となります。
- ・福島東RC24日(金)の例会は18時30分よりうな万に

て夜間例会となります。

○その他のお知らせ

- ・1月ロータリーレートは1ドル110円となります。
- ・本日、下期会費納入のご案内を差し上げました。ご確認の上、早めの納入をお願いします。
- ・2月15日(土)は新会員オリエンテーションが開催されます。当クラブがホストとなりますので参加ご協力をお願いいたします。

委員会報告

◇出席・スマイリングBOX小委員会 黒澤信之委員長
○相澤隆会長＝優良従業員表彰の安達様、おめでとうございます。

○佐藤卓立幹事＝梅津様入会歓迎致します。本日誕生祝いありがとうございます。渡辺敬藏委員長スピーチよろしくお願ひ致します。

○梅津一匡会員＝今日からお世話になります。
○大平謹一郎会員＝誕生祝いありがとうございます。後期高齢者に仲間入りです。新しい気持ちで精進したいと思ひます。優良従業員として我が事務所より安達典子が表彰されありがとうございます。母子2代での表彰です。

当院も今年の正月満40才になりました。

○久米允彦会員＝梅津さんの入会を歓迎申し上げます。

——地区大会及び優良従業員表彰によせて——

- 鈴木悦夫会員 ○佐藤宗弘会員 ○佐藤慶行会員
- 高梨哲男会員 ○高橋智弘幹事 ○野尻榮一会員
- 渡辺敬藏会員 ○黒澤信之会員

本日のスマイリングBOX集計13件 34,000円
ご協力頂きました皆さん、ありがとうございました。

◇会報・雑誌・広報・IT・小委員会 大平謹一郎委員長
ロータリーの友 1月号の紹介です。

横組みP3 会長メッセージ

どんな職業であれ、誠実に常に「四つのテスト」に従って働けば誰もが世界に大きく貢献できるのです。今月は職業奉仕月間です。

P7 特集記事 温故知新 私の職業奉仕

2人の会員の寄稿です。

P8 尼崎西RC 田中氏

シエルドンが創案したRIの標語(モットー)He Profits Most Who Serves Bestの直意について15年かけて著作約350冊の内容に分析した結果を述べています。聖書に記されている、黄金律(The Golden Rule)である。他人からしてもらいたいことを、先に他人にしてあげなさいを引用した言葉を経営学にも基づく奉仕理念として言い換えたフレーズだと説明しています。

P9 甲府北RC 小林氏

100年かけて育んできた「日本の職業奉士」Vacation Serviceを職業奉仕と直訳した為に我が国では職業と奉仕を別々に理解していきなりわかりにくかったり、違和感があったが、職業奉仕という4文字を1つの単語として、日本における獨創性を編み出した高度な思想を持った言葉で優れた哲学的概念になったのではないか、奉仕の理念に近似した思想になったのではないか、と考えられると述べております。

P22 追悼

現場主義を貫き世界で救いを待っている人のために

生きた人。諸方貞子を部下であった前橋RCの吉永さんの追悼の文です。ロータリー財団奨学生時代の代1号で国連難民高等弁務官、そしてJICAの理事長として地球規模の問題解決の為に最前線で活躍した様子を書いています。

P38にはロータリー財団総学生時代の彼女の姿が掲載されています。

2530地区の記事

P23 梁川RCの会員の希望の森トライアスロンに出場した写真が載っています。

◇本日のプログラム

○職業奉仕委員会セミナー報告 渡辺敬藏委員長

1月18日、郡山ユラックス熱海で開催された第2回職業奉仕委員会セミナーについてご報告致します。

芳賀ガバナー、佐久間英一地区研修リーダーの挨拶の後、佐藤喜市郎職業奉仕委員長から主催者挨拶および講師紹介がありました。

基調講演として芳賀ガバナーから「私の職業奉仕論」と、職業奉仕委員長の初瀬照夫氏から「職業奉仕で会員増強を」の講演がありました。その後休息を挟んでグループディスカッションとその発表が有りました。

芳賀ガバナーの「職業奉仕について」では、「職業奉仕」の理念の歴史の変遷についてのお話しでした。

1908年にアーサー・フレデリック・シエルドンの「奉仕派」とラグルスらの「親睦派」の対立に始まり、1923年セントルイス大会では、決議23-34[綱領に基づく諸活動に関するロータリーの方針]採択により、その対立を乗り越えてロータリーの理念、原則が確立された。なお、このときにBusiness MethodからVocational serviceに変更された。1942-43理事会で「四つのテスト」が正式採用されたがその後「職業奉仕」は低調に推移、1987年RIに「職業奉仕委員会」が、発表されるも同時に発表された「職業奉仕に関する声明」との間で違和感があり、1992年「社会奉仕に関する声明」で社会奉仕は社会的責務であるとの考えが明示された。

2011年「ロータリアンの職業宣言」を改正し「ロータリアンの行動規範」が採択され、1923年の声明で「ロータリーの基本理念」が示された。1)最もよく奉仕する者最も多く報いられる、4)奉仕する者は、行動しなければならないと示した。

初瀬職業奉仕副委員長からは「職業奉仕で会員増強を」の演題で、芳賀ガバナーをはじめ、佐藤喜市郎職業奉仕委員長、鈴木秀憲公共イメージコーディネーター各氏の「職業奉仕とは何か」についての考え方が紹介された。概ね「自分を磨き職業を磨く」ということで会員増強をということになる。

休息を挟んでのグループディスカッションは「職業奉仕」と「会員増強」についてそれぞれのグループで討議し、そのご発表した。

「職業奉仕」については、ほとんどのグループが「自分を磨き職業を磨く」に類する考えであり、「職業」には「倫理」を含めるとの考えも多かった。

「会員増強」については、方向性は出ずに、それぞれのグループでバラバラな内容となった。会員数の多い所は更に多くなる、一方少ないところは更に少なくなる。JCからスライドして入会するなど様々であった。「職業奉仕」と「会員増強」の組み合わせに無理があったようだ。

◇閉会点鐘

相澤隆会長

※会報カメラ担当

大平謹一郎会員